

アステラス製薬 イノベーションラボの 共創の取組みについて



田口一実氏

アステラス製薬株式会社
イノベーションラボ
オープンイノベーションマネジメント
EIR ビジネスリード

アステラス製薬および東京科学大学にて起業家（EIR）として活動し、アカデミアと製薬企業の両立場から創業シーズの社会実装を推進。顧みられない希少疾患の課題解決をライフワークとし、日本・米国の製薬企業での研究開発・事業開発経験に加え、AI 創業スタートアップや米国ボストンにおける創業エコシステムでの実務経験を有する。



内野裕史氏

アステラス製薬株式会社
イノベーションラボ
プログラムマネジメント&ビジネスオペレーション
サーチ&エバリュエーションコーディネーション
リード

アステラス製薬イノベーションラボにおいて、創業研究の初期プログラムを運営・統括する部門に所属。ラボの戦略に基づき外部案件を積極的に活用し、創業研究を効率的に推進することをミッションとし、事業開発部と連携しながら、研究者のニーズを案件の評価から共同研究の立ち上げ、ディール成立まで一貫して伴走する。これまで神経科学分野を中心に、疼痛および耳科領域の研究に従事。近年は、細胞老化をはじめとする老化や加齢関連の研究分野に強い関心を持っている。

講演要旨

「殿町から世界へー 創業スタートアップと製薬企業をつなぐ共創の実践」 田口一実氏

世界のイノベーションの99%は自社の「外」にある。つまり、外部との共創、オープンイノベーションこそ創業の鍵だと考える。本講演では、スタートアップ企業、製薬企業、アカデミアでの経験から得た知見を基に、創業におけるオープンイノベーションの重要性と、アカデミア・スタートアップと製薬企業の共創が果たす役割について論じる。また、日本には世界水準の創業シーズが存在する一方で、製薬企業との連携不足により実用化に至らない例も多い現状を踏まえ、アステラス製薬における共創の仕組みや具体的な戦略領域を紹介し、創業の加速と患者価値創出の可能性について考察する。

「イノベーションラボの挑戦ーアステラス製薬の“次の成長エンジン”を創り出すためにー」 内野裕史氏

アステラス製薬では現在、再生・視力の維持・回復、遺伝子治療、がん免疫、標的タンパク質分解誘導の4領域をプライマリーフォーカスとして位置づけ、患者さんにとって真に意義のある「価値」を確実に届けることを目指し研究開発に注力している。一方で、医療ニーズや科学技術は日々変化しており、将来のアステラス製薬の研究開発を見据えた新たな取り組みを継続的に検討していくことが重要と考えている。イノベーションラボでは、社内研究に加え、アカデミアやスタートアップをはじめとする外部のサイエンスや技術を積極的に取り込みながら、将来につながる可能性のある研究テーマを探索。本講演では、アステラス製薬全体の研究開発と共に、イノベーションラボにおいてどのような観点で外部の研究や技術と向き合い研究テーマの検討や評価を行っているのかについて、具体例を交えながら紹介。オープンイノベーションを通じた研究推進の考え方や取り組みについて、理解を深めていただける内容を予定している。

2026. 5.27 WED
16:00~17:30

講演

16:00 - 16:45

Q&Aセッション

16:45 - 17:00

ネットワーキング

17:00 - 17:30

アカデミアの研究者やStartupの事業開発や研究者の方で、製薬企業とのコラボをご検討の方ぜひご参加ください！

開催場所 LINK-Jラウンジ

〒210-0821 神奈川県川崎市川崎区殿町3-25-10 Research Gage Building Tonomachi 'RGBII) 1階

